

兵庫県保険医協会神戸支部 医療安全管理研修会

「外来における院内感染対策」
～あなたの対応は万全ですか？～

日 時 2019年2月16日（土）午後3時～5時
会 場 兵庫県保険医協会 5階会議室（JR・阪神元町駅東口を出て南へ徒歩7分）
講 師 独立行政法人国立病院機構 神戸医療センター
呼吸器内科 部長 **土屋貴昭** 先生
参加費 1,000円（受講された方には受講証を発行します）

医療は年々、高度化・専門化が進み複雑になっています。ちょっとしたことが大きな医療事故に繋がりがねない要因となることもあります。医療安全に対する意識の向上は安全に医療を提供し、更に医療に従事する方の安全を確保する上でも欠かせないものとなっています。

「医療安全管理」「院内感染対策」に関し、医療法では職員・従業員の研修を年2回程度実施することが求められ、無床診療所（内科・歯科）の場合は外部研修でも認められます。

神戸支部では毎年、外部研修として位置づけていただける、医療安全管理研修会を企画しています。改めて外来での患者への対応を振り返る機会として、現場ですぐに実践できるノウハウを講演いただきます。ぜひご参加下さい。

***お問い合わせは TEL 078-393-1801 神戸支部担当 難波・小西まで**

参加申込 FAX(078)393-1802 へご返信下さい

神戸支部医療安全管理研修会 2/16(土)

参加者氏名	職種

※受講証作成のため参加者氏名は楷書でご記入をお願い申し上げます。

()区 医療機関名 _____
 ご担当者名 _____ Tel. () _____
 _____ FAX () _____

兵庫県保険医協会 321号 2019年1月5日
神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部
連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

2019年 新年のご挨拶
神戸支部長 田中 孝明



保険医協会神戸支部の皆様、明けましておめでとうございます。神戸支部長の田中孝明です。また旧年中は保険医協会の署名活動を始めとして、様々な活動に対してご協力いただきありがとうございました。

さて昨年は豪雨や台風、地震等の自然災害が多い年でした。日本は災害が多い国だと実感いたしました。皆様の地域はどうでしたでしょうか。被害に遭われた会員の皆様には改めて、お見舞い申し上げます。本年は自然災害が起こることなく、事件、事故など何事もなく平穩に過ぎることを祈っております。

今年の干支は猪ということで、猪にまつわる言葉として猪突猛進（ちょとつもうしん）という四字熟語があります。この意は「目標に向かってまっすぐ突き進んでいく事」で、一見良い意味ととらえがちではありますが、逆に言えば「周囲の人のことや状況を考えずに、向こう見ずに行動する

こと」ととらえられて、最近では後者の意見の方が多いとのことです。昔とは違って、今すぐ、〇〇〇ハラスメントと捉えられたり、責任を問われたりしますので、行動を起こす前に熟考が必要です。何かと世知辛い世の中になったものだと思うのは、年を取ったせいかもしれません。



今年も保険医協会神戸支部も会員の皆様に叱咤激励されながらも、皆様に幸福と利益を与えられるよう、猪突猛進ではなく、ゆっくり確実に歩き続けて参る所存であります。今年も一年よろしくお願いたします。

新春インタビュー「垂水誠貫堂薬局・山本智史薬剤師」

住民が落ち着くこだわりの和の空間

垂水区 宮武 博明先生

山陽電鉄滝の茶屋駅から少し歩くと、住宅街のなかに町屋のような外見をした薬局があります。私の患者さんの薬も調剤してもらっているこの「垂水誠貫堂」の山本智史薬剤師に、薬局開設に込めた思いについて聞きました。

宮武 山本さんのこの薬局にかかる思いは並ではないので、ぜひ紙面で紹介したいと思っていました。まず入り口から、立派な木の扉ですね。

山本 昔の蔵戸を使い自動ドアを作りました。かんぬきもついています。壁は白漆喰、調剤室との間の窓ガラスは昭和40年代のものを使い、カウンターも松の一枚板です。一番こだわったのは温水床暖房です。冬場のエアコンによる乾燥でのどを痛めないように導入しました。

宮武 細部に至るまで、こだわりが詰まっていますね。

山本 他にもたくさんありますので、患者さんに、一つずつ発見して、楽しんでもらえたら嬉しいです。

宮武 もともと和風建築がお好きなんですか。

山本 ええ。徳島県脇町のうだつの町並みや、京都の西陣の町屋など、古い町屋が大好きで、あこがれていました。こちらの部屋は、インフルエンザなど感染症の方用の待合室です。横になって休んでいただけるよう、畳敷きの小上がりを作りました。いろいろあるんです。

宮武 すごい！こんな落ち着いた空間に来たら、患者さんがみんな帰ってくれないんじゃないですか（笑）。



町屋のような入り口前で



畳敷きの小上がりでリラックス

山本 ここで久しぶりに会った人とゆっくり話してもらおうのも歓迎です。

宮武 キッチンもありますね。

山本 ここでは、兵庫県栄養士会との共同事業で、月1回、栄養士さんに栄養指導を行ってもらっています。

宮武 薬局で栄養指導というのは聞いたことがありません。

山本 ドイツでは、こんな風にキッチンがあって料理教室を行うような薬局が主流だそうです。日本でも誰かが始めて実績を作っていくかといけないと思っています。

(3面の下段へつづく)

研究会「医療機関での個人情報の取り扱い」 感想文

トラブルを未然に防ぐための方法を学ぶ

神戸支部が11月17日に開催した研究会「医療機関での個人情報の取り扱い」（講師：神戸あじさい法律事務所 増田正幸弁護士）の感想文を紹介する。

個人情報保護法が施行されて以降、今まで患者さんの質問に回答していたことも急に回答しても良いかどうか悩まなければならなくなり、回答できるかどうかの選別も難しく、なかなか自分たちでは判断しづらくなっていました。個人情報に関する問い合わせについての電話対応等の規定をつくりたいと思っていましたが、色々な方に相談するも明確な回答はなく、やはり判断基準を決めるのは結局各々の医療機関で、ということになりどうすべきかと悩み続けて堂々巡りのまま今まで時間が経ってしまいました。

今回この研修会に参加させていただき「これは回答しても良いのではないか」と思えるよう

になり、あれもこれもダメなのでは、と思っていたので少し気が楽になりました。そのポイントは「この法律に違反したからといって罰則があるわけではない」「トラブルを未然に防ぐための取り組み」ということと、講師の先生の「私なら答えると思います」という一言でした。「法律だから」と必要以上に構え「規制することだけが目的ではないと考えれば良い、と前向きに思える気がしました。

患者さんの権利を損なわないように色々と確認事項は必要で院内掲示等でのアナウンスも重要かとは思いますが、「回答可能事項」ができた気がしてホッとしました。研修に参加させていただいて気分が楽になり患者さんにとっても私どもにとっても良かったと思います。講師の先生、分かりやすい解説をしていただきありがとうございました。

【中央区・朝日ビル中院クリニック スタッフ】

(2面からのつづき)

宮武 これだけの薬局を作るのは資金も大変だったでしょう。

山本 もともと今の場所の向かいで小さな薬局を開いており、18年間かけてこつこつと貯め、5年前に実現させることができました。

宮武 なかなかできないことだと思います。私の患者さんも近くに住んでいますが、薬が必要になりお願いするとすぐ、山本さん自身が患者さんのところに薬を配達してくれます。いつも助かっていますが、経営も大変でしょう。

山本 苦労は多いですが、患者さんとの信頼関係を一番に心がけていくことが一番大事だと思っています。自分の大好きなこだわりの和の空間を、地域の皆さんに楽しんでいただきたいですね。

宮武 山本さんのお人柄が、この薬局にあふれていると思います。本日はありがとうございました。読者の皆さんも、ぜひ一度、誠貫堂薬局を訪れてみてください。

※垂水誠貫堂薬局 垂水区城が山1—14—16